

氏名	寫末 憲子	部署	社会福祉子ども	職名	准教授
研究分野	介護福祉・生活支援・専門職連携				
学位	修士(社会福祉学)				
学歴	1988年熊本大学教育学部特別教科(看護)教員養成課程、2000年日本社会事業大学大学院社会福祉学 研究科				
経歴	2003年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 講師、2012年 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授				
所属学会(役職)	日本介護福祉学会(評議員・査読委員)、日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	第1巻 第3章第4節 介護職の安全「介護職の心身の健康管理」	単著	2018年版 介護職員初任者研修テキスト 理念と基本	寫末憲子	2018.2
2	第4巻 第10章 振り返り 事業所等におけるOJT・Off-JT	単著	2018年版 介護職員初任者研修テキスト 技術と実践	寫末憲子	2018.2
3	専門職としての介護支援に必要なことーリスクマネジメントー	共著	教育情報出版 福祉実践をサポートする 介護概論 第2版 154-157 ISBN978-4-938795-92-4	寫末憲子、金美辰 菊池信子	2018.3
(2) 論文					
1	生活支援記録法(F-SOAIP)の実践展開とICT・AI時代を展望した研修プログラムの提案 ～自立支援型ケアマネジメントに求められる支援経過記録のイノベーション～	共著	地域ケアリング、19(6)、87-90	寫末憲子、小嶋章吾、千葉道子	2017年6月
2	地域共生社会に向けた医療福祉分野の専門職退職者も取り込むシニア人材育成の試み ―専門職多職種連携教育を活用した地域課題検討を用いた実践から―	共著	地域ケアリング、19(14)、39-41	保科寧子、寫末憲子	2017年11月
3	支援者の働きかけと根拠が分かる効果的な「生活支援記録法」の開発	共著	月刊ケアマネジメント 6-9	寫末憲子、小嶋章吾	2017年12月
4	包括的支援体制をめざす先駆的自治体とソーシャルケア職能団体との協働～生活支援記録法(F-SOAIP)による多機関多職種連携の試み～	共著	地域ケアリング、19(14)、39-41	寫末 憲子、小嶋 章吾、首長 正博、大友 崇義	2018年2月
5	ソーシャルワーク記録における経過記録法～生活支援記録法(F-SOAIP)の一考察～(査読有)	共著	社会福祉士、25、13-19	小嶋章吾、寫末憲子	2018年3月
(3) 学会発表					
1	地域包括ケア時代のIPWにおける共通基盤としての生活支援記録法(F-SOAIP)～マイクロ・メゾ・マクロレベルの効果とICTを展望した課題・方策についての検討～	共著	第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会	寫末憲子、小嶋章吾、羽田野政治	2017年9月
2	地域包括ケアを指向するソーシャルケアの職能団体基盤型IPWのモデル構築	共著	第10回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会	小嶋章吾、寫末憲子、大石剛史、大友崇義	2017年9月
(4) その他					
1	IPW実習(多職種連携教育)と地域の医療・福祉機関の専門職連携	共著	保健医療福祉科学 7 107-110	飯岡由紀子、押野修司、榊原次郎、酒本隆敬、寫末憲子、保科寧子、森美紀、山崎晃史	2018年3月

2	認知症対応型IoTサービス	共著	総務省: IoTサービス創出支援事業報告書	小嶋章吾、島末憲子	
<b>2. 競争的資金等の研究</b>					
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		地域包括ケア時代のソーシャルケア発信型IPWに好循環を生む生活支援記録法実証研究(研究代表)		2015.4～現在
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)		地域包括ケアを指向するソーシャルケアの職能団体基盤型IPWのモデル構築(研究分担)		2013.4～2018.3
3	総務省: IoTサービス創出支援事業		認知症対応型IoTサービス(研究分担)		2017.8～2018.3
4	埼玉県立大学: 研究開発センタープロジェクト		在宅医療・介護における多職種連携研修プログラムの開発		2016.4～2018.3
<b>3. 教育業績</b>					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
<b>(1) 講義</b>					
1	介護福祉概論: 科目責任者	2017.4～2017.9			
2	社会福祉概論	2017.6			
3	IPW論	2017.7			
<b>(2) 演習</b>					
1	ケアサービス演習: 科目責任者	2017.10～2018.3			
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ: 科目責任者	2017.10～2018.3			
3	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2017.12～2018.3			
4	社会福祉専門演習Ⅰ	2017.4～2017.9			
5	社会福祉専門演習Ⅲ	2017.4～2017.9			
6	社会福祉専門演習Ⅳ	2017.10～2018.3			
7	IPW演習: 科目責任者	2017.10～2018.3			
<b>(3) 実習</b>					
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2018.2～2018.3			
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2017.10～2018.3			
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2017.4～2017.6			
4	共生社会実習Ⅰ	2017.4～2017.9			
5	IPW実習	2017.8～2017.9			
<b>(4) 論文指導</b>					
1	学士課程	2017.4～2018.3	4名		
2	修士課程	2017.4～2018.3	福祉道: 1名		
<b>(5) その他</b>					
1	カリキュラム検討委員会	2017.4～2018.3			
2	実習指導者講習会	2017.7			
<b>4. 社会貢献活動</b>					
<b>(1) 講演会、研修会等の講師</b>					
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ		開催年月
1	乃木坂スクール #14 実践の「見える化」～生活支援記録法	国際医療福祉大学大学院	生活支援記録法の理論と実践(ICFと生活場面面接)		2017.5
2	乃木坂スクール #14 実践の「見える化」～生活支援記録法	国際医療福祉大学大学院	生活支援記録法の試行・活用		2017.5
3	ソーシャルワーク教育全国研修大会 分科会2「生活支援記録法」を活用した「書く力」(現象を再構成する力)を養うソーシャルワーク教育	日本ソーシャルワーク教育学校連盟	実践の可視化と多職種連携に効果的な「生活支援記録法」～ソーシャルワーカー養成教育と現任者訓練における活用をめざして～		2017.6
4	乃木坂スクール #14 実践の「見える化」～生活支援記録法	国際医療福祉大学大学院	シンポジウム「生活支援記録法の実践」		2017.6
5	乃木坂スクール #14 実践の「見える化」～生活支援記録法	国際医療福祉大学大学院	生活支援記録法研修のリフレクション		2017.6

6	埼玉県介護支援専門員協会 埼玉県主任介護支援専門員更新研修	埼玉県介護支援専門員協会	地域包括ケアシステムの動向	2017.7/ 9/ 11 2018.1
7	平成29年度埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修	埼玉県福祉部 高齢者福祉課	介護支援専門員のための生活場面面接/ケアマネジメントを効果的にするための支援経過記録の書き方～求められる生活支援記録法(F-SOAIIP)～	2017.9
8	書き易い記録を発見するために生活支援記録法を学ぶ!	坂戸市介護保険事業者連絡会 ケアマネ部会	～多職種と連携出来る見やすい記録、支援に対して気づきが得られる記録を書こう!	2017.9
9	埼玉県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員研修	埼玉県介護支援専門員協会	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現	2017.9
10	埼玉県社会福祉協議会 介護支援専門員専門研修Ⅱ	埼玉県社会福祉協議会	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	2017.9(2回)
11	総務省 IoTサービス創出支援事業(認知症対応型IoTサービス)	高知市 医療法人 恕泉会社会福祉法人ふるさと会	認知症ケアにおける生活場面面接と生活支援記録法の活用	2017.10
12	さいたま市中央区主任ケアマネの会 研修会	さいたま市中央区主任ケアマネの会	多職種連携・自立支援を促進する生活支援記録法(F-S O A I P)～介護職と医療職の連携をより取りやすくする記録法～	2017.11
13	総務省 IoTサービス創出支援事業(認知症対応型IoTサービス)	高知市 医療法人 恕泉会社会福祉法人ふるさと会	認知症ケアにおける 生活支援記録法の試行～生活支援記録法ワークシートのOJT活用～	2017.11
14	平成29年度 第3回全体研修会	さいたま市介護支援専門員協会	ケアマネジメントを効果的にするための支援経過記録の書き方 生活支援記録法:F、S、O、A、I、P	2017.12
15	総務省 IoTサービス創出支援事業(認知症対応型IoTサービス)	高知市 医療法人 恕泉会社会福祉法人ふるさと会	認知症ケアにおける KCIS:生活支援記録法の継続的活用を目指して～生活支援記録法ワークシートによる個人とチームのOJT～	2017.12
16	学会発表に向けた導入後研修	草加市 株式会社ベルツ 在宅リハビリテーションセンター	在宅リハビリテーションに役立つ経過記録～生活支援記録法(F-SOAIIP)～	2018.1
17	居宅介護支援キャリアⅢ・Ⅳ対象研修「生活支援記録法」講座	医療生協さいたま	多様な効果をもたらす生活支援記録法(F-SOAIIP)～マイクロ・メゾ・マクロ・グローバル～	2018.2
18	ケアマネサロン	入間市西武地区 地域包括支援センター	多様な効果をもたらす生活支援記録法(F-SOAIIP)～マイクロ(個別)・メゾ(機関・集団)・マクロ(地域)～	2018.2
19	介護福祉士生涯研修 ファーストステップ研修	新潟県介護福祉士会	コミュニケーション技術の応用的展開(①全体)	2018.2
20	関東地区研修 in 東京	日本医療ソーシャルワーク学会	ソーシャルワーク記録のための経過記録法～生活支援記録法(F-SOAIIP)を学ぶ～	2018.3
21	生活支援記録法(F-SOAIIP)研修会	栃木市役所 保健福祉部 地域包括ケア推進課	包括的支援体制に役立つ経過記録～生活支援記録法(F-SOAIIP)～	2018.3
<b>(2) 国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人埼玉県介護支援専門員協会	主任介護支援専門員・更新研修統括指導者		2018.2～2018.3
2	日本介護福祉学会	評議員および査読委員		2015.11～/2011.2～現在
3	日本社会福祉学会	査読委員		2014.11～2018.3
4	とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会	企画委員		2013.4～現在
5	越谷市	都市整備委員		2011.4～現在
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容		年月
1	BS531:放送大学 ラジオ放送	嵐末憲子「高齢者を支える人材養成の課題」/科目責任 山田知子「高齢期の生活と福祉」第9回(45分)		3回/2017～2018

2	BS531:放送大学 ラジオ放送	寫末憲子「地域包括ケアシステムへの展望－介護保険や認知症ケアの課題をふまえて」/科目責任 山田知子「高齢期の生活と福祉」第10回(45分)	3回/2017~2018
3	BS531:放送大学 ラジオ放送	寫末憲子「高齢者を支える人材養成の課題」/科目責任 山田知子「高齢期の生活と福祉」第11回(45分)	3回/2017~2018
4	介護ビジョン 日本医療企画	「記録が上手くまとまらない」を解決 「F-SOAIP」方式の実践演習(研修取材)	2017.11
5	月刊ケアマネジメント 環境新聞社	特別企画 使ってみませんか「生活支援記録法」(F-SOAIP) 使ってみました実践報告(企画・z情報提供・編集)	2017.12
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>			
1	奨励研究部会 部会員		
2	「専門職連携・協働」推進事業専門部会:総合課程(葛藤・リフレクション)		
3	推地域専門職連携推進部会:入間西入間東地域(担当)、比企地域(オブザーバー)		
4	保健医療福祉科目担当者会		
5	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事)		
6	研究開発センターC1プロジェクト		
7	丸山一郎記念研究・活動奨励賞運営委員会		
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
<b>7. 特許の保有状況</b>			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
<b>8. 特記事項</b>			
1	未来投資会議構造改革徹底推進会合「健康・医療・介護」会合(第4回) 配布資料4「データ活用基盤の構築等」(厚生労働省、総務省、文部科学省、経済産業省、平成30年3月9日の29頁「認知症対応IoTモデル」(H29)に紹介されている「介護記録」に、文部省科学研究費補助金により開発した「生活支援記録法」が採用されている。		
2	文部省科学研究費補助金「地域包括ケア時代のソーシャルケア発信型IPWに好循環を生む生活支援記録法実証研究」生活支援記録法(F-SOAIP)により、Webサービス開始 <a href="http://seikatsu.care/">http://seikatsu.care/</a> (2018.3)		
3	文部省科学研究費補助金「地域包括ケアを指向するソーシャルケアの職能団体基盤型IPWのモデル構築」により、Webサービス開始 <a href="http://tochigi-social.care/">http://tochigi-social.care/</a> (2018.3)		
4	在宅介護の限界点を引き上げる ～ミクロ(個別支援)・メゾ(地域連携、協働)・マクロ(政策や制度化)の視点から～ 【企画、運営参加・支援】第2回保健医療福祉専門職連携推進研修会 入間西・入間東地域専門職連携推進会議		